

2020年度から小学校で

と指摘する。

■ 3歳から

開発した。

■ より本格的

ラミングの際には別途モニターが必要になる。

「プログラミング教育」が必修になる。コンピューターに指示を与えて、機械などを意図した通りに動かす技術で、家庭でも基礎的な考え方を学ぶことができる。玩具や教材が登場している。

(松尾大輝)
させたい習い事一位
インターネットを活用した「eラーニング」事業を手掛けているイー・ラーニング研究所(大阪府吹田市)の調査では、17位が「プログラミング教室」だった。

保護者の関心が高いのは、学校教育での導入や、あらゆるものを使つた「IOT」や人工知能(AI)などが暮らしに欠かせなくなっていることが背景にある。

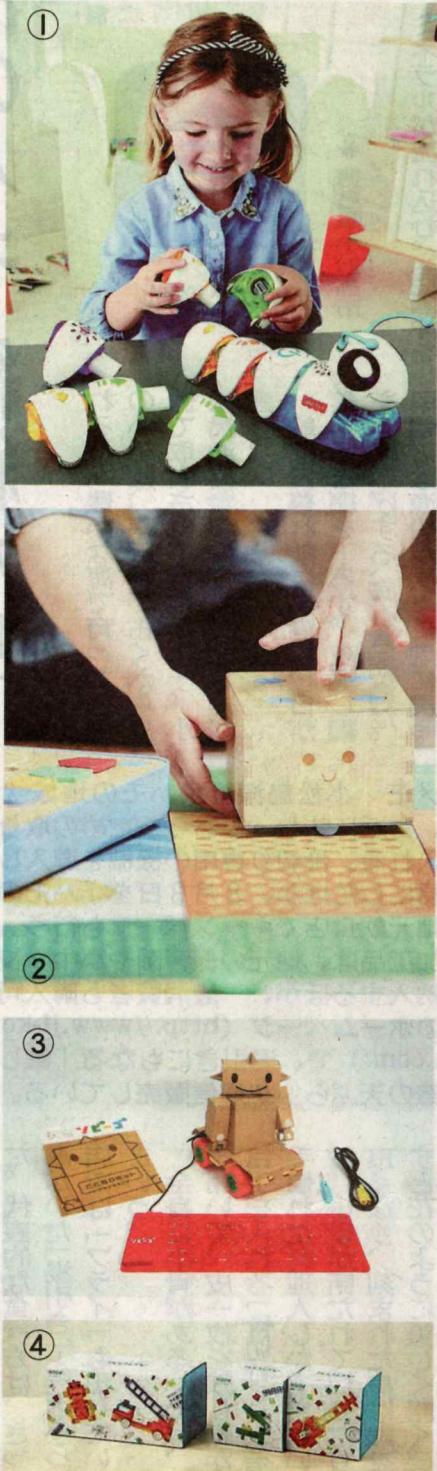
NPO法人「CANVAS」理事長で、文部科学省の有識者会議の委員も務めた石戸奈々子氏は、「新たな技術の活用や、新たな産業を興すために、プログラミングは欠かせない。どのような職業に就いても基礎的な教養として身につけたい」という。技術よりも「課題を見出し、解決方法を論理的に考えたり、新たな価値を創造したりする思考方法を育む」ことが大切」

20年 小学校で必修化

玩具で プログラミング

米玩具メーカー、マテル社の日本法人マテル・インターナショナルの「プログラミングロボコード・A・ピラー」(税抜き希望小売価格6900円、対象年齢3歳~6歳)=写真①=はイモムシ形のロボットだ。胴体のパーツをどう組み合わせるかによって動きを指示できる。子どもがモノをつなげて遊ぶことが

好きなことに着目。「プログラミングの基礎的なスキルを身につける」(開発担当者)という。英プリモトイズの「キュベット」(税抜き販売価格2万9600円、対象年齢3歳~小学生低学年程度)=写真②=は、動き方を決めるブロックをボードにはめると、ロボットの「キュベット」が指示に従つて動く。ブロックの組み合わせによって動きが変わり、地図(マップ)上で目的地への最短ルートなどを考えて遊ぶことができる。最高経営責任者(CEO)のフィリップ・ヤコブ氏が「自分の子どもに遊ばせたい玩具」として



①プログラミングロボ コード・A
・ピラー②キュベット③ソビーゴ
こどもロボットプログラミング④K
OOV (いずれも提供写真)

ワイヤレスインターネットでゲームをする。専用アプリに対応している。パソコンなどの端末とインターネット接続が必要だ。

同社の磯津政明社長は「社会で必要な能力を身につけられる教材を提供したい」と話している。

(東京都)とチチュラルスタイル(福井県)は「ソビーゴル(ソビーゴル)」(税抜き希望小売価格3万6880円、対象年齢5歳以上)=写真③=を共同開発し、5月に発売した。付属の子供用プログラミングパソコン「IchigoJam」(イチゴジャム)を使って段ボール製のロボットを動かす。「WAI T 60」(1秒待つ)など決められた言語を打つて指示を出す。

ロボットは色を塗つたり、シールを貼つたりしてカスタマイズできる。専用アプリに対応している。パソコンなどの端末とインターネット接続が必要だ。